

解体工事中の旧山形銀行本店に、9/3（土）よりアート作品が登場！ 約 50 メートルの仮囲いを、芸工大教授・原 高史の作品が彩ります

東北芸術工科大学（山形市／学長 中山ダイスケ）は、連携協定を締結している株式会社山形銀行（頭取 長谷川吉茂）の協力を得て、本学が主催する「みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ 2022」の作品として、解体工事中の旧山形銀行本店西側フェンスに、縦 244cm×横 5,002cm のアート作品「未来山形」を展示します。

ぜひ多くの方に本展示をお知らせしたく、ご取材賜りますようお願い申し上げます。



フェンスを彩るアート作品（イメージ図）

展示期間 2022年9月3日（土）～2023年5月（予定）

展示場所 旧山形銀行本店（山形市七日町）西側

作品「未来山形」について

これからの未来に向かい、変わりゆく山形の街並み。文翔館からグランドホテルまでの七日町通りをアウトライン化し、色鮮やかに街並みを抽象化。

絵の中の山形銀行を中心とした建物の窓には、山形の現状や、未来へのメッセージを意味する絵が入る。町への期待感をフェンスに表現し、新たな「未来山形」が始まる。



作品イメージ（一部抜粋）

アーティスト

原 高史 (はら・たかふみ)

東北芸術工科大学 デザイン工学部 グラフィックデザイン学科教授

1968年東京都生まれ。多摩美術大学絵画科油画専攻大学院修了。現代美術家。地域の人々とのコミュニケーションを通して得られた「ことば」を絵と共にパネルに描き、歴史的建物や、地域一帯の窓を埋め尽くすプロジェクトを展開。これまでに、シンガポールビエンナーレ(06)、ハバナビエンナーレ(08)をはじめ、ドイツ、日本、ブラジル、台北など6カ国19カ所で発表。企業や行政、教育機関などとのアートコラボレーション、ワークショップ等を行っている。



ドイツ ベルリン
「Signs of Memory Pink project」



日本 茨城県北芸術祭
「Signs of Memory2016：鯉ヶ丘のピンクの窓」



コペンハーゲン
「Signs of Memory Pink project」



ペインティング 2012
「心の中の少女は次々に生まれて死んでいく」



山形大学附属病院
院内サインデザイン監修
東日本重粒子センター
ロゴマーク / 院内サインデザイン監修



月山ビール
ロゴマーク / ラベルデザイン監修



バスラボ山形ワイヴァンズ
ロゴマーク / 企画監修

東京ガールズコレクション主催
株式会社 F1メディア
ロゴマーク監修



「みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ」について

「みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ」は、東北芸術工科大学が2年に1度主催する、地域密着型の現代芸術祭です。美術大学である本学が主催することから、「これからの東北を担う文化的リーダーの育成」をミッションに掲げ、開催してまいりました。

5回目の開催となる今回は、9月3日(土)から25日(日)までの金・土・日・祝日の12日間にわたり、国の重要文化財・文翔館をはじめ、山形市中心市街地を会場に開催します。アーティストと市民による共同制作プログラムを軸に、アートだけではなく、ファッション、食、音楽など多彩な体験型アートプログラムを展開します。

開催期間：2022年9月3日(土)～9月25日(日)の金・土・日・祝日

特設 Web サイト：<https://biennale.tuad.ac.jp/>

お問い合わせ：東北芸術工科大学 入試広報課 TEL：023-627-2246

Email：public@aga.tuad.ac.jp